

家庭学習の手引き(1,2 学年)

小学校の学習は、将来社会人として自立していくための基礎となります。

学校での学習を定着させるには、家庭学習の習慣化がとて大切になります。ご家庭と協力し、子どもたちが学習習慣をきちんと身に付けていく手立ての一つとして、この手引きを作成しました。

低学年では20分程度、中学年では40分程度、高学年では60分程度の学習を目指します。


ご家庭の皆さまのご協力をお願いします。

1 べんきょうのまえに

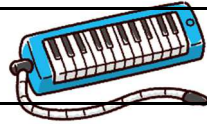
- ◎ つくえのうえや がくしゅうするばしよの せいりをしましょう。
- ◎ ほかのこと(おやつを食べる・ジュースをのむ・テレビをみるなど)をしながら、べんきょうしないようにしましょう。
- ◎ ただしいしせいで、べんきょうしましょう。



2 まいにちのしゅくだいのしかた

「く」	おんどく	・おおきなこえで、はっきりとよむ。 ・「、」や「。」に きをつけながらよむ。
	ひらがな かたかな かんじ	・かきじゅんや かたちに きをつけて ていねいにかく。
さんすう	・もんだいを しっかりよむ。 ・すうじ、しき、こたえは、ていねいにかく。 ・おわったら みなおしをする。	

3 じしゅがくしゅうに チャレンジ!

「く」	よむ	・いろいろなほんを こえにだしてよもう。 ・まいにち、どくしよしよう。
	かく	・ならったじを かきじゅんやかたちに きをつけてかこう。 ・きょうかしよを うつそう。 ・につきを かこう。
さんすう	・ノートやカードをつかって、けいさんのれんしゅうをしよう。 ・ただしく はやく けいさんできるようになろう。 ・じぶんで、もんだいをつくってみよう。	
そのた	・けんぱんハーモニカの れんしゅうをしよう。 ・いきものや くさばなの かんさつをしよう。	

4 べんきょうのあとに



あすの じかんわりや もちものを たしかめよう。

保護者の方へ

～ほめや励ましの声かけが大切です～

- ・学習する環境を整えてあげてください。
- ・できた宿題や持ち物を確かめ、自主学習をしたらみてあげてください。